

2025 年度 A O 選抜 文学部 日本文学研究学域
「人文学プロポーズ方式」

【選考講評】

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
日本文学研究学域	24	12	11

2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>

(1) 評価ポイント

学域における学びの内容と意義を理解し、高い意欲を以て日本文学・日本語学の学習に取り組もうとする姿勢があらわれているかどうか、独自性の高い研究課題を設定し、それを確実に実現できる緻密な研究計画を立てているかどうかを評価ポイントとしました。

(2) 解答状況

一次合格者の解答は、上記の評価ポイントで示した内容を有しており、具体的な記述によって研究意欲が鮮明に表現されていました。

3. 第二次選考

(1) 評価ポイント

第二次選考では、プレゼンテーションとそれに対する質疑応答、および面接を実施しました。評価ポイントは、下記のとおりです。

- (1) 自分のやりたい研究テーマの内容を、適切な方法で表現できているか。
- (2) 研究計画は具体的で、実行可能なものであるか。
- (3) 正確な論法による説明ができているか。

(2) 解答状況

合格者のプレゼンテーションと応答、面接での対応は、上記の評価ポイントで示した内容をほぼ満たしていました。学問に対する並々ならぬ熱意が伝わってくるようで、頼もしく感じました。

(3) 試験（プレゼンテーション・面接）内容

受験生によるプレゼンテーションのあと、その内容に関する質疑応答をおこないました。それに続けて志望動機や進学後の目標、大学生活での心がけ等について試問しました。

(4) 出題（プレゼンテーション・面接）の意図

入学後の専門的な学習に必要な基礎知識や意欲を確認するとともに、自身の考えを適切な方法で伝達する能力、複雑かつ頻繁な意味内容を正確に聞き取り、瞬時に判断して最適な答えを出す意思疎通の能力を見定める意図でした。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

大学の学習には高校までの基礎知識の涵養が欠かせません。日々の学習に真摯に取り組み、着実に習得することを第一に考えてください。何事にも関心を持ち、幅広い領域に対する知見を獲得するよう努めてほしいと思います。

以上